

春の夢なきやふとくまへ
あまのよみあまきき
人く又餘波とせ

行春路ふく
はくは河那
丁

故郷をさかり
花はなふは哉
人我

奈真

ひくはぬれそ花のふゆや秋の色は
柿を老く空根のほく
月をりうとと顔なり傀儡師
山田より聲鳴る雨はか
夜はくらのちふや徳義言ち
聞山

山吹や字流乃
散言を小女容
不三奈并

戊申春